

伊藤岳 日本共産党・参議院議員 国会報告

2020年
新春号

ito_gaku.jp 検索



参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所



環境委員会で質問する伊藤岳参院議員

2020 年新春 安倍政権に変わる 野党連合政権をつくる 希望ある年に



政治が大きく動いた 2019 年 さらに前に

2019年は、市民と野党の共同で政治が大きく動きました。
7月、私・伊藤岳は21年ぶりとなる埼玉の参議院の議席を獲得させていただき、埼玉選挙区定数4のうち2議席を野党がしめるといふ流れを生み出しました。8月には県知事選挙で野党4党が応援する大野もとひろ知事を誕生させることができました。
この流れをさらに大きく広げて、今年こそ安倍政治に変わる新しい政治を実現していきましょう。
今年も、日本共産党と伊藤岳へのご支援をお願いします。

伊藤 岳

初登庁(8月1日)



国政に挑戦して18年。昨年7月の参議院埼玉選挙区で勝利。選挙区選挙では東京・京都とともに埼玉が獲得した貴重な1議席です。

ひどい! 桜を見る会 国政の私物化

野党追及本部で力をあわせ疑惑を徹底究明 安倍首相 こんどこそ 逃げ切りは絶対に許しません!



「桜を見る会」追及本部会議に出席

“逃げ切りは許さない”—安倍首相主催の「桜を見る会」。税金を使った公的行事を私物化した大問題です。日本共産党の田村智子議員の質問から火が付いたこの問題は、与党が言うような「小さな問題」ではありません。

7000人から1800億円を奪い行政処分をうけたジャパンライフの会長が「桜を見る会」に出席し、その招待状を使って悪徳商法を広げていました。

次々に明らかになる真実。野党は共同で「桜を見る会」追及本部を立ち上げ、伊藤岳議員もメンバーのひとりに選ばれました。真相の徹底究明で、ゆがんだ政治をただすために奮闘中です。



『桜を見る会』私物化疑

国会で真相究明を! 安倍政権は退陣を! 日本共

「今度こそ、安倍政権は散ってもらいましょう」とJR浦和駅前で塩川てつや衆院議員、梅村さえ子前衆院議員とともに訴え(12月9日)。

総選挙に
向かって

野党共闘の前進と日本共産党の躍進の年に

——衆議院比例北関東ブロックで複数議席確保へ全力——

衆議院議員
塩川てつや



党国会対策副委員長・議会運営委員として、国会運営のかなめに。台風19号ではただちに現地調査し、災害救助法の適用、激甚災害への指定、救援と復興に全力。航空自衛隊入間基地の拡張計画や米軍横田基地へのオスプレイ配備を許さない取り組みに奮闘しています。

前衆議院議員
梅村さえ子



草の根運動30年。消費税をなくす全国の会の結成から運動の先頭に。衆院議員時代は、総務委員会、消費者問題の特別委員会を担当。消費増税中止、国保増税方針の撤回、子どもの国保税(均等割)の廃止、子ども医療費助成へのペナルティ廃止を求め。国会質問2年10か月間で60回。

小泉進次郎環境大臣と 熱い論戦！

●11月14日、環境委員会で初質問

**廃プラ処理の
自治体押しつけやめよ**



環境委員会の初質問で伊藤岳参院議員は、①自治体の災害ゴミ処理への支援強化、②外国に受け入れを断られた廃プラスチックの処理を自治体に押しつけるのはやめること。この2点を小泉進次郎環境大臣にせまりました。「初めてとは思えない」「まさに、現場主義を貫いた質問」と反響が寄せられました。

●12月5日、2回目の委員会質問

**メガソーラーによる
自然破壊の規制を**



秩父市のソーラー発電施設を調査(9月7日)

「環境アセスメントに大臣の意見提出など適正な処置を講じる」(小泉大臣)

メガソーラーによる無秩序な自然破壊。台風による土砂崩れも起きました。伊藤議員は現場の声を直接うかがい、2回目の質問で小泉環境大臣から「来年4月、環境影響評価法の対象事業として(太陽電池発電設備が)追加される」「環境大臣の意見提出などを通じて、適正な環境保全措置が講じられるよう対処していく」との答弁を引き出しました。

「一刻も早く全頭にワクチン接種を」——農水大臣に直ちに要請



埼玉でも豚コレラが発生。「一刻も早く全頭に予防接種を行い、被害を食い止めるように」と農林連の代表とともに農林水産大臣に申し入れました。

参議院議員5か月

「開かれた民主主義と立憲主義」の大義を掲げ

4野党共同で大野知事誕生



「県議会自民党いいなりの知事に県政は渡せない」とたたかった県知事選挙。埼玉では初めて4野党が共同し、大野もとひろ知事が誕生。政治を動かしました。

すぐ現場に駆けつけ被災者の声で国政を動かす

10月12日台風19号で甚大な被害に。伊藤岳参院議員は、被災現場に何度も足を運び、地方議員と力を合わせて被災者救援と復興支援にとりくみました。



10月13日塩川でつや衆院議員・梅村さえこ前衆院議員とともに被災地を訪問。

「最後のひとりが申請するまで期限をきらない」(内閣府)
「災害ゴミの処理は国も対処する」(環境省)



「市独自では対応しきれない」と東松山の被災ゴミ処分場で担当者から実情を聞く党市議団と伊藤岳参院議員。

内閣府に対し、災害救助法にもとづく申請は「最後のひとりが申請するまで期限を切らない」と確約させ、災害ゴミの処理については、環境委員会で国の支援をとりあげ、「対処する」と約束させました。

被災者に温かい食事を

坂戸市内の避難所を県議とともに訪問。「あたたかい食事を食べたい」との被災者の声をすぐに担当者に伝え改善を求めました。



「現場の声を第一に」

伊藤岳

日本共産党
参議院議員